

グローバルに活躍する

編集にあたって


渡辺晴美 | 東海大学 大川 猛 | 宇都宮大学

近年、グローバル人材育成の需要は急速に増していることは周知であり、文部科学省も国際教育を推進している¹⁾。大学・大学院生の卒業生の海外での活躍を耳にする機会は増えている。日本の多くの大企業はグローバル企業であり、多くの日本人が海外で働いている。また多くの大学もグローバル化・国際化に力を入れ、さまざまな機会が学生に提供されるようになった。一方で、日本人出国者数は、2018年は増加しているが長期的に見ると2000年をピークに横ばいである^{2), 3)}。こうした状況のもと、学生、教員は「海外で働く」ということについて、そのキャリアや環境、必要なスキルなどについて具体的にイメージできているだろうか？ 海外勤務のイメージは、いわゆるGAFA (Google, Apple, Facebook, Amazon) のみではないだろうか？ こうした疑問に少しでも答えるために、外務省の調査において日系企業の総数第4位のタイに着目する(1位：中国、2位：北米、3位：インド)⁴⁾。他地域に比べ、ASEAN地域の日本企業数の増加は顕著であり、その中でトップはタイであることから、卒業後に学生が活躍する場として期待できる。

本特集では、まずは実際に海外に勤務されている

方から、直面されている現状についてご紹介いただく。グローバル化は海外からの受け入れも課題の1つであることから、日本へタイから留学した方のその後についてインタビューする。次に、国際会議APRIS (Asia Pacific Conference on Robot IoT System Development and Platform) 2018と関連した3件の記事を紹介する。本会組込みシステム研究会は、2018年度、タイの日本企業・大学と1年間にわたる密接な連携により、国際会議APRIS2018をゼロから構築し、開催した。この会議ではグローバルProject-Based Learning (以下、PBL)を実施し、学生の専門的なコミュニケーションの場を拡充した。PBLはグループでの自発的な問題発見・解決および見積もり・計画を重視した学習方法である。第1回はドローンの開発を、タイ人と日本人学生との混合チームで開発を行った。これらについての経験を事例としてまとめ、その効果について学生の意見を聞いた。さらに、タイでの日本企業でのインターンシップ経験についても紹介する。本特集の構成は以下の通りである。

1. 「海外への道～オフショア組込みソフトウェアの最前線と日本からの技術導入について～」



元々はASEAN諸国では日本人技術者よりも安い人件コストを背景にしたオフショア開発が行われていたが、現在、企業によっては高度な技術スキル獲得の教育を施すことで上流工程まで含む仕事をこなす日本企業と同等の会社も出てきている。タイ王国の日本企業で統括する立場でグローバルに活躍されている井倉将実氏に、ASEAN諸国における日本のオフショア開発の現状について紹介いただく。

2. 「日本への留学のメリットとその後のキャリア」

日本の大学で博士号を取得し、現在、タイ王国の大学で学部長を務めていらっしゃるDr.Nattha Jindapetchに、日本留学のメリットとその後のキャリア、タイ王国でのグローバル教育についてご紹介いただく。

3. 「ゼロからの国際会議の立ち上げ」

APRIS 2018はタイと日本のメンバによって合同開催した国際会議である。二国間の国際会議の企画がどのように始まり進んでいったかを振り返り、ゼロからの国際会議の立ち上げを経験して得られた知見を共有する。

4. 「グローバル Project-Based Learning —ドローン制御ソフトウェア開発を通して—」

国際会議で開催したグローバルPBLについて紹介する。国際会議は、学生にとって貴重な体験であるが、多くの学生にとって外国人とコミュニケーションを取る時間は限られている。そこで、「専門分野に基づいたグローバルコミュニケーション」の場の提供を目的として、タイ人—日本人の混成

グループでドローン開発を行った事例について紹介する。

5. 「グローバル Project-Based Learning における学生の声」

グローバルPBLに参加した学生にインタビューを実施した。その効果について本稿では参加した学生にインタビューを行った。特に、タイ王国留学中の学生は、タイ人と日本人の架け橋となっていた。そこで、グローバルPBLの効果に加えて、留学までの経緯を含め特別インタビューを実施した。

6. 「海外インターンシップ・インタビュー—積極的なコミュニケーションの重要性を学ぶ—」

海外勤務というと、いわゆるGAF(A Google, Apple, Facebook, Amazon)といった米国発企業で働くことをイメージすることが多いが、世界のさまざまな地域で展開する日系企業も多い。そのような海外の日系企業でのインターンシップを経験した学生に話を聞いた。

参考文献

- 1) 文部科学省、国際教育Webページ、http://www.mext.go.jp/a_menu/01_f.htm
- 2) 法務省、平成30年版「出入国管理」白書(2018)。
- 3) 年別日本人出国者数の推移(1964年以降)、<https://www.tourism.jp/tourism-database/stats/outbound/>
- 4) 外務省、海外在留邦人数・進出日系企業数の調査結果(平成30年要約版)。

(2019年3月31日)